

市政を問う!!

質問者

- 永井 泰仁
- 古畑 秀夫
- 西條 富雄
- 柴田 博
- 中原 巳年男
- 山口 恵子
- 中村 努
- 金子 勝寿
- 鈴木 明子
- 森川 雄三
- 青木 博文
- 宮田 伸子

※本文は質問者自身の原稿によるものです

一般質問の要旨

地域経済を活性化させるには

◆TPP交渉参加は反対

問 TPPは農業や医療・地域経済に大きな打撃を与えるが市長の考えは。(古畑)

答 市民が安心して生活を送ることができるかなど、市民益の観点から判断することになるが私も反対である。

◆リフォーム助成実施へ

問 新年度の助成実施で見直しを行った点は。(鈴木)

答 対象事業費を10万円以上とし小規模工事にも対応。申請書類等の簡素化をすすめた。

◆安倍政権の経済対策

問 デフレ不況の原因は所得が減り続けている事にあり、賃金引き上げ対策が必要。安



塩尻市の豊かな農地



信州パワープロジェクト建設予定地

信州Fパワープロジェクト

◆地元との合意形成を

問 地元要望の道路、河川、余熱利用、公害環境保全の対応についての考えは。(青木)

答 道路については、安全対策を含め、地元と協議し、河川の改修は、県と連携を図る中で、必要な改修をする。余熱利用は、農業的利用、入浴施設を含め、今後検討、研究

倍政権の経済対策についての市長の考えは。(鈴木)

答 金融緩和、大規模の補正予算化による公共事業等、経済対策効果が見えつつあり、地域経済活性化、雇用創出に期待。賃金引き上げによる不況脱却には困難な点が多い。

していく。「公害防止及び環境保全協定」には地元の意向を反映し、検討していく。

◆余熱利用について

問 原木の安定確保に向けてどうしていくか。(古畑)

答 森林経営計画の作成を支援し、円滑に生産・流通・利用の仕組みづくりをめざす。

問 余熱利用で入浴施設の建設を検討しては。(古畑)

答 周辺が市街化調整区域で様々な制限があり、今後、研究、検討していく。

◆雇用創出について

問 木材の安定供給と地元の雇用拡大を。(永井)

答 年間22万5千㎡の木材を確保するため、アカマツや広葉樹の未利用材を主体に原木の安定的需給調整を担う(仮称)サプライチェーンセンターを設置し安定供給を図る。



拡幅を要望されている側道